

北神けいろうの国政報告：2月号

いつも大変お世話になっています。

いよいよ予算案の本格審議へ

○先月から、通常国会がはじまっています。政治と金の問題で、皆様にご迷惑をかけています。法律的には、**鳩山総理も小沢幹事長も不起訴となりましたが、政治家として皆様のご理解をいただく努力が求められます。**

こうした中で、雇用対策や中小企業対策を盛り込んだ第二次補正予算は、先月、すでに可決成立しました。また、**今月5日から平成22年度本予算案の審議が始まりました。**

○政権交代をしてから、4ヶ月余り経ちました。「何も変わっていない」という声も日に日に大きくなっています。しかし、政治は予算です。**今ようやく審議がはじまった本予算が通って、その政策の効果を実感していただくためには、少なくとも今年一杯待っていただかなければなりません。**

『変革』は着実に進んでいます！

○もちろん、これまで変えてきたこともあります。

一つは、これまで**官僚が政策を決めていましたが、鳩山政権では、皆様が選んだ議員である大臣たちが、政治主導で決めるようになりました。**試行錯誤の段階ではありますが、これは明らかに大きな変化であります。

○また、「事業仕分け」という公開の場を通じて、**税金の無駄使いの大掃除をやりはじめています。**これによって、1兆円以上の財源を確保できました。

もちろん、まだまだ不十分だし、やり方が乱暴すぎる部分もたしかにあります。こうした点を改善しながら、今年もさらに強力にこの作業を推し進めてまいります。

○今後については、**景気対策をも含む本予算を通すことが何よりも大事です。**これにより今までの税金の使い方が大きく変わります。皆様に「コンクリートから人へ」を約束したとおり、**公共事業費は、なんと前年に比べて18.3%削減しました。他方、お年寄りのための医療・年金等の予算は9.8%増やしました。また、子供たちのための教育費は5.2%増やしました。**

私は財務省で仕事をしていましたが、これほど予算の配分を大幅に変革したことはあまり例がないと思います。

忍耐強く『変革』を支えてください！

○政権交代によって何が変わったのか。あるいは、変わりつつあるのか。

答えは、「政治主導で、税金の無駄使いが正され、その税金の使い道が、少子・高齢化という時代に対応したものに大胆に変わりつつあるのです。」

民主主義は、時間がかかります。**皆様が成し遂げた政権交代という歴史的な変革を、少なくとも政権はじめての予算の効果が出てくるまで、忍耐強くお支えいただきますよう、心よりお願い申し上げます。**